

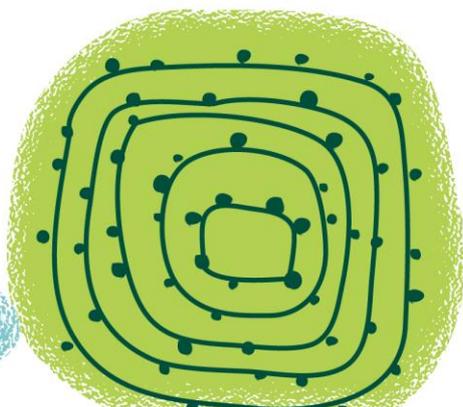
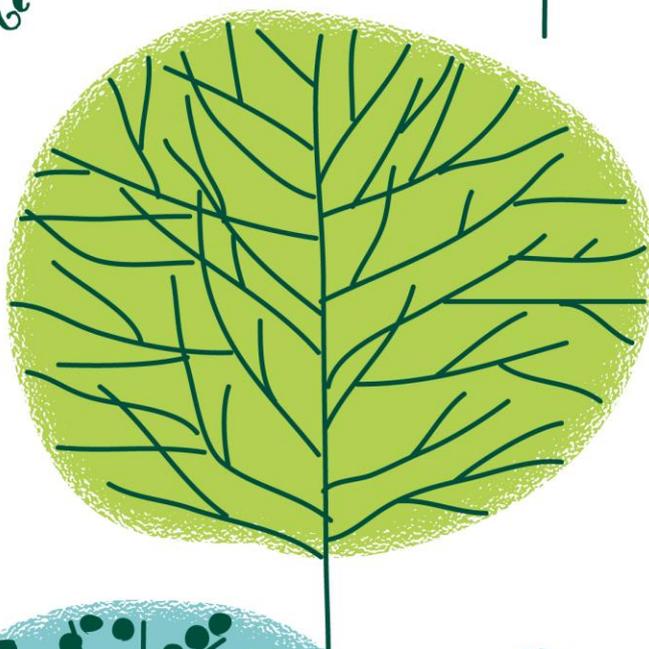
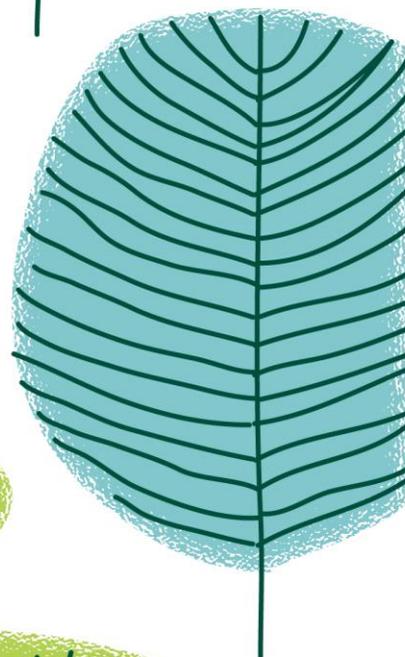
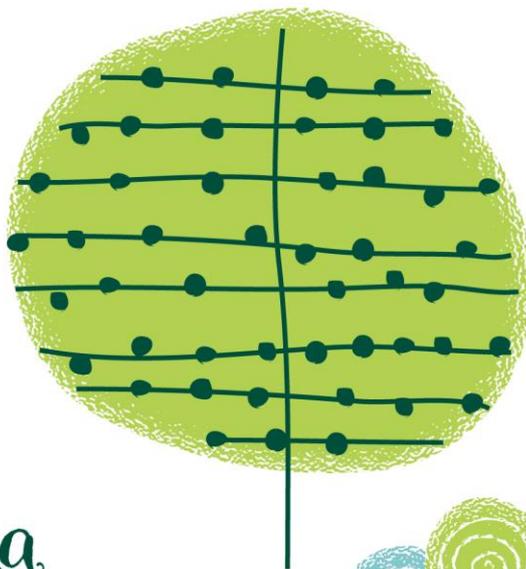
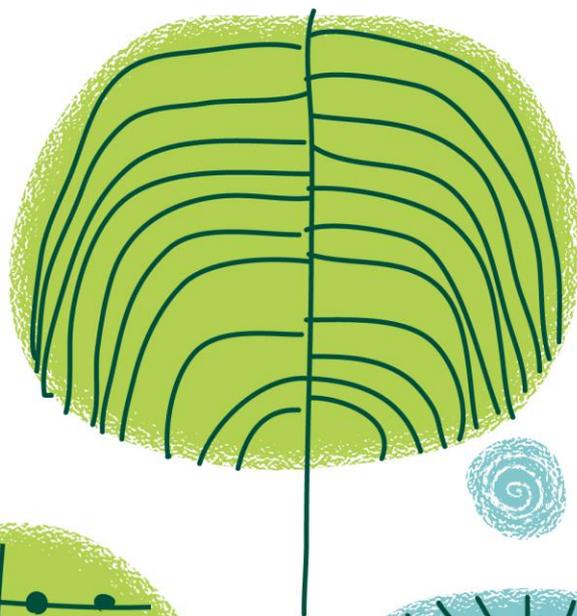
社会福祉法人 種の会 もみじやま保育園  
〒164-0001 中野区中野 1-58-9 (仮園舎)  
Tel 03-3365-0602  
ホームページ URL <http://www.tanenokai.jp/>

Momijiyama  
ArteKodomotoki



えんぢより

9



## 新しい時代の中で

コロナ禍で前例のないことばかり。国や自治体の指針を元に、自分たちの置かれた立場で、どのように子ども達の生活、成長を保障していくかということの難しさも感じるこの頃です。基本的な考え方は示されても、最終的な判断を現場で求められることもあります。集団生活を送る上で、何が最善かを考えることは難しいことでもあります。何を大切にして保育するのかを問い続けながら、子ども達のことを一番に考えていきたいと思っています。

日々変わっていく状況の中で、信頼のおける情報の確保が必要です。あふれる情報を精査し、現状に応じた判断をしていきたいところです。立場や役割により視点の違いもあります。保育士は子どもの生活と育ちという観点で、看護師は感染予防や健康管理の観点で意見を交わし、具体的な実践に結びつけています。それぞれのご家庭の事情も異なり、個々に応じた対応が必要なこともあります。納得のいくことばかりではないかもしれませんが、それぞれの状況を理解し、より良い道を探る対話を大切にしたいと考えています。ひとつの結果を導き出すには、お互いを尊重し思いやりを持つということも心掛けていきたいと思ひます。

## 子ども達に育って欲しい力

変化の激しい時代の中で、自分で考え判断することも多くなっています。大人が正しいと思うことを「～しなさい」と指示するだけでは、自分で考える力はなかなか身につけません。

先日のこと。廊下を走っていた男の子が、先生と目が合い、ピタッと止まり歩き直しました。トイレに行く時にも全速力?! 担任が聞いてみると「オシッコがもれちゃうから! 慌てずに行くようにする」とのこと。「廊下は歩きなさい」と言うのは簡単ですが、なぜ走っちゃダメなのかが大切で、それが分かると主体的に行動を変えていくこともできます。「小さい子がいたら、ぶつかっちゃう」そんな優しさから行動できるようになったらステキですね。

状況に応じた行動をとることができるように、自分なりに考え、自分の言葉で伝えられるようになって欲しいと願っています。そのためには、子どもの声(言葉や行動)に耳を傾けること、「なぜ、そう思ったのか」「なぜ、そうしたか」に、ひとつずつ丁寧に向き合い、年齢や発達によって考える場面を積み重ねていきます。子どもと大人、子ども同士、大人同士で、気持ちのやりとりする関係性を生み出し、共に考えながら新しい道を見つけ出していきたいと思ひます。

新園舎への移転が11月になりました。新しい環境で、変化に対応できる子ども達の力が発揮されるよう、期待を持ちつつ準備を進めています。保護者のみなさまには、いつもご理解とご協力を頂き本当に感謝しております。ご心配なことなどありましたら、どうぞ遠慮なく声をお掛け下さい。



園長 山田 寿江

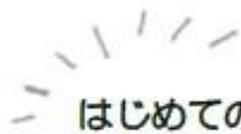
## お知らせ

- 10月に予定しておりました保育参加は感染症予防の為、保育参観と致します。11月下旬から1月の期間に個人面談を行います。その際、感染症対策をしたうえで、ご希望される方のみ、短時間の保育参観を予定しております。詳細は後日ご連絡致します。コロナの状況によっては、実施できないこともございますことをご了承下さい。
- 登降園の際、門の開け締めは必ず保護者が行い、扉が閉まっているかご確認ください。門がしっかり閉まっていないと、子どもが過って飛び出すことがありますので、ご協力お願い致します。
- 自転車置き場で遊ぶことは危険なのでおやめください。思わぬ事故に繋がらないよう、お子様から目を離さず、すみやかな降園をお願い致します。
- 大木侑佳先生（すぎのご組担任）は9月より産休に入ります。

September 9 2020						
sun	mon	tue	wed	thu	fri	sat
		1 運動あそび 保護者会 (0.1.4歳) 引き取り訓練	2 保護者会 (2.5歳)	3 音楽あそび	4 0歳児健診	5
6	7 発育測定	8 運動あそび	9	10 音楽あそび	11	12
13	14	15 おはなし びっくりばこ	16	17 音楽あそび	18	19
20	21 敬老の日	22 秋分の日	23 6月の 誕生会	24 音楽あそび 0歳児健診	25	26
27	28	29 運動あそび	30			



## つくし組



はじめての水あそび



長かった梅雨が明け、8月に入り、やっと水あそびができるようになりました。つくし組の子ども達にとって、はじめての水あそび……。最初はタライの水におそろおそろ手を伸ばして触っていた子ども達でしたが、今ではもうすっかり慣れて、自分から水面を元気よくバシャバシャとたたいて、頭からビショビショになって遊ぶ子も……。顔にかかっても楽しくてこの笑顔です。



1歳児クラスのお友達とも関わりを持ちながら、一緒に遊ぶようになりました。お兄さんお姉さんが遊んでいる姿を見て真似をして、水鉄砲やジョウロを使って自分に水を掛けたり、アヒルやボールの玩具を手にして遊んだり、思う存分、水あそびを楽しんでいます。

お部屋に入ろうと声を掛けると、“もっとあそびたい”という姿も見られ、水を怖がる子がいるかなと思っていたのですが、そんな心配は必要ありませんでしたよ。

水あそびの後はお部屋で“ふれあいあそび”をしてリラックスしながら、ゆったりと過ごしています。

Relax



## きれいだな、なんだろう？

テラスに吊るされた色とりどりのきれいな水。実は、長い傘袋の中に様々な色の食紅を合わせて混ぜた色水です。濃い緑、黄緑、青、薄い紫、赤、黄色など、陽の光に反射するとキラキラ光り、どの色も本当に美しくサンキヤッチャーのようです。



「みてみてー」と声を掛けると、子ども達は「なになに？」といった表情でやってきて、窓越しにみんなで並んで、首を伸ばしながら見とれていました。やっぱりきれいなものは小さい子もよく分かり、惹かれるのでしょうかね。

## お部屋にプール？

つくしぐみのお部屋に小さなプールが・・・。そう、タライの中にたくさんのボールを入れて、ボールプールの出来上がりです。子ども達は「キャー」と大興奮。早速、興味津々で近付いて来てタライに両手を入れてみたり、ボールを握ってみたり、嬉しそうな笑顔がいっぱいです。“ポイ”と投げると真似をして、投げたり取りに行ったりと忙しそうな姿も見られましたよ。プールの中に入ってみると、「おー」と言って、なんともいえない可愛い表情を見せてくれる子もいました。不思議な感覚だったのかもしれないね。





## ねむのき組

### 水の感触と形の変化

2本のホースから勢いよく出ている水。保育者が1本の水を止めてみると、Tくんは水の出てこないホースの先端を持ち、別のホースから流れ落ちてくる水を入れ始めたのです。ホースの中に水がたまると、ジャーっと下に向けて水を流し、手で水を入れたり出したりしてしていました。



ホースの先端から噴水のように水が噴き出しています。上から容器を近づけても、中に水は入りません。“あれ?!溜まらない!”と不思議そうな顔。上から落ちてくる水、下から噴水のように出てくる水、溜まっている水、様々な水の形を目や手で確認しながら、子ども達はいろいろな発見をしています。指先に力がついたので、今までできなかった“水鉄砲”や“ホースの先端を潰して勢いのある水を出すこと”ができるようにもなりました♪

もみもみ気持ちいいな～  
どんないろがすき?



カラフルな色水の入った傘袋! 触ってみると・・・やわらかーい! きもちいいー! という表情をしながら肌で感触を楽しんでいる子ども達。手で触るパターン、足で踏むパターン、くちで噛んでみるパターンと子ども達それぞれが違った感じ方で触れていました。“どんないろがすき?”の絵本が大好きなねむのき組の子ども達は、歌をうたいながら好きな色を手にする姿も見られていました。

・溶けていくうちに変化する色と形



水の入っている容器の中に、着色した氷を入れてみると・・・わー！色が出てきた！！と色が広がっていく様子が釘付けの子ども達。色の違いを感じながら、少し経つと今度は色をミックスさせてみる姿も。色が混ざり新しい色に変わる物もあれば、片方の色が強いのであまり変化しない組み合わせもありました。お気に入りの色の元へ行き、容器ですくってみたりタライの中に流してみたり。Hちゃんは近くに落ちていた氷を全部入れることで、いくつもの濁り色を生み出し続けていました。

・レパートリー豊富な泡あそび

タライの中にある大量の泡でお店屋さんごっこを始めた女子グループ。「いらっしゃいませ～」  
「はい、どうぞ」などと会話のやり取りを楽しみながら、ふわっふわのムース料理が盛りされていました。どんな味かな？と待ちきれない様子のお客さん役はFちゃんです♪ その隣では、清掃スタッフの姿を発見！ いつも使っているジョイントマットをびかびかにしようと、両手で泡を広げながら夢中で磨くAちゃん。普段見ているママの姿の真似をして、泡でコップを洗い、水で流すEちゃんの姿も見られました。



暑い日が続いていましたが、気温に合わせてたくさんの感触あそび（寒天・水・泡・氷・絵の具）を経験した子ども達♪お店屋さんやお掃除屋さんなど、感触あそびをきっかけに室内あそびへ発展している姿が見られていました。そしてなにより、夏の感触あそびを通して、お友達との関わりがすごく増えたねむのき組の子ども達です♪

♪今月のうた

・とんぼのめがね

・どんぐりころころ



水遊びや感触遊びを楽しんだ夏！



## もみのき組

生活面でもとても成長がみられるように…

衣服の着脱では保育者の援助なく一人で最後まで着替えが出来るようになったり、トイレも以前よりとっても意欲的！「おしっこ出るかも！」と意気揚々とトイレに座る姿も多くなってきた。食事の時には「これ食べられるよ！」と苦手な物に挑戦したり、「見て！お皿持ってるの！」と食べ方を意識する姿もみられます。「これ一緒にたべてみよう！」「おいしいね」とお友達や保育者との会話も楽しみながら沢山食べて元気いっぱいです。



“同じ” がいいけど “自分だけ” がいい！

Bさんが水の入った傘袋の感触や光が差し込む様子を楽しんでいます。Aさんも「やりたい！」と遊びに加わりました。「いいよ、みんなでやろうよ。」と声を掛けると「一人でこれやりたいの！！！」と不服そうです。Aさんの気持ちを受け止めつつ、“今はBさんが使っていた”ことを伝え、一緒に話し合ってみました。

結局、Aさんの粘り勝ち。Bさんが譲って違うビニール袋で遊ぶことになりました。ところが、しばらくするとまたAさんはBさんの使っているものを欲しがりはじめました。お友達の持っている物は魅力的に見えます。“ぜんぶ使いたい！ひとりじめしたい！”

お友達との関わりを通して、自分の気持ちに折り合いをつけられるよう成長している真っ最中です。



## ぺたぺた！ひんやり！ぐにゅ！で感触あそび

全身で絵の具を楽しんだボディペインティング、ひんやり冷たい氷遊び、ぐにゅっとつぶして楽しい寒天遊び…様々な感触遊びを楽しみました。それぞれの素材の感触を楽しむ中で、「冷たい！」「ぶるぶるしてるよ」「かきかき～」と自分が感じた感触を言葉にしたり、擬音をつけながら遊んだり表現が豊かになってきてます。寒天遊びでは容器を使って「みてー！ゼリーどうぞ！」とごっこ遊びに発展させて楽しんでいました。



### まいにちが研究者！

お部屋の中のミニアトリエがお気に入りです。ビンの中には何が入っているかな、カラフルなクリア積み木で周りを見たらどんな風に見えるかな…子どもたちは日々「これってどうなるんだろう」と探っています。

Cちゃんは積み木で自分のスポンを見ても、模様の色が変わったり消えたりすることを発見！こっちは？こっちは？と足をライトテーブルに乗せ色々な模様で積み木を当てて確かめていました。

今年の夏はクラスみんなで思い切りプールに入って遊ぶことが出来ませんでした。しかし水遊びや感触遊び、室内遊びの中でじっくりとお友達と関わる時間を作ることが出来ました。お友達との関わりが楽しくなってきた2歳児クラスはその時間がより重要なものになったのではないかなと思います。



♪今月のうた

・きのこ

・虫のこえ





## あぎのご組

### ☆たのしかった夏☆

今年の夏は、プール遊びがありませんでした。その代わりに7月・8月と、子ども達は沢山の夏のおそびを楽しみました！

### 片栗粉で粘土

最初に、子ども達に片栗粉を見せました。関心を持った子ども達は、

「お砂糖!？」

「お塩!」と、自信満々に答えてくれました。

「触りたい!」という声が聞こえてきたので、まず粉に触れ、少しずつ水を入れ混ぜていき、片栗粉の変化と感触を楽しみました。ギュッと握ってお団子を作っても、手の平を開くとドロドロに。「先生見て!」と保育士の手の平にお団子をのせ、崩れ落ちる様子を見つめます。不思議な片栗粉の変化を何度も同じ事を繰り返しながら楽しんでいました!



片栗粉の中にこっそり食紅を隠しておきました。真っ白だった片栗粉がピンクや黄色に変わってビックリです。水を加えて色が変わる様子も楽しみました。とろ〜んとした感じを「ソース」に見たててお料理ごっこを楽しんでいました。





## せんたくごっこ

おままごと用の、スカートや三角巾などを使って、洗濯ごっこを楽しみました！保育者が固形石鹸をカットしていると、固形石鹸を知らない子ども達は「なんだこれ？」「石鹸？違うよ、泡出てないじゃん」



固形石鹸を泡立てる事が難しい様子。保育者と一緒に泡立てると、コツをつかんだようで泡がどんどん出てきます。

「この石鹸って固いけどいい匂い！」

「使った物は、みんなで洗濯しないとね！」なんて言いながら、洗っていました。



“絞る”ということもなかなか難しい…。保育者がキュー！っとねじる姿を見せましたが、キューとしぼったり、ギュッギュッと押してみたりと様々です。腕をねじる動きがうまく真似できず苦戦しましたが、みんな一生懸命でした。

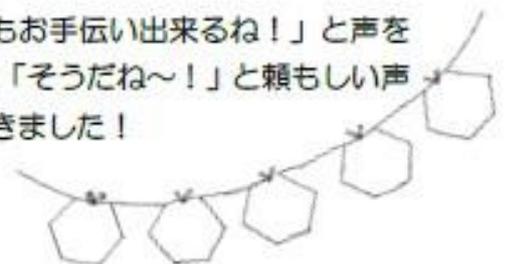


nice



次は干す作業！順番にロープに干していききました。

「お家でもお手伝い出来るね！」と声をかけると、「そうだね～！」と頼もしい声が返ってきました！



♪今月のうた

・虫のこえ

・とんぼのめがね



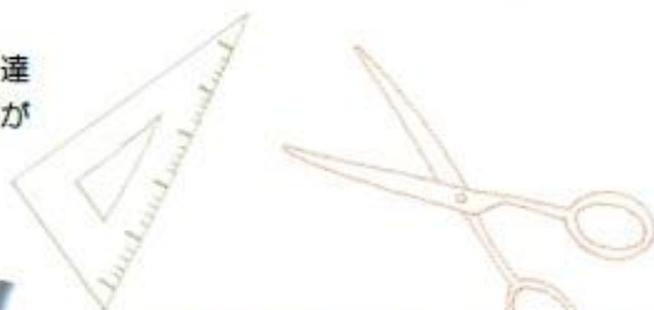


## あすなろ組

みんなで決めたよ！  
わくわくお祭りごっこ

室内で過ごす時間が増えたことをきっかけに、より工作遊びに力が入っています。最近、チラシで細い棒をつくるのがブームになりました。

はじめは、チラシを細く丸められず苦戦していた子ども達でしたが、挑戦する度にコツをつかみ、納得がいくものができるようになりました。



たくさんの棒ができたところで、子どもたちのほうから「目に入ったら危ないね。」との声が聞こえてきました。

「ねー！この棒曲がってるよ！」と発見！そこで、輪投げを作ることを提案すると「いいねー！やってみる！」と輪投げ制作に発展しました。



子ども達の意見が合わさってできたお祭りごっこは、遊ぶだけに終わらず、“お店屋さんごっこ”に発展…！

「お金はらう？」

「いらっしゃいませーって呼ぶんだよね。」とお店屋さんの役割について、アイデアがたくさんあふれ出ていました。



## 発見いっぱい！水遊び

いつものように「ホースやろう！」と意気揚々とホースをつないで遊び始めました。自分達で汲んだ水をホースに流しますが、途中で止まってしまう。“水の勢いが足りないのかな…”  
“穴が空いているから？”  
“砂を入れてみたら？”  
“高さをつけたらどうかな？”  
思いつくものを全部試してみます。穴を手でふさぐ子、ホースに高さをつける子、水を流す子に分かれてみると、見事！水が最後まで流れました！



「いいね、いいね！」「もっとやるぞ！」とみんなで協力して成功したことを喜び、遊びがどんどん盛り上がっていました。今度は、色水や泥水を流してみます。「コーヒーみたいだね」女の子たちはコーヒーを作るチーム、Hくんはコーヒーを運ぶ人、AくんとTくんは必至でホースの穴を押さえています。いつの間にか役割分担ができていました。色の違う水が流れる様子が面白く、「もっと早く流そうよ！」と追加のコーヒーを流したり、ホースの角度を調整したりして、みんなで一つの遊びに没頭していました。



おぼけの的を作り水鉄砲で遊ぶことにしました。

「おぼけ退治するぞ！」と的にめがけて放水！的へ何度が当てるうちに、的と紐を止めていたトイレットペーパーが水で溶けることに気がつきました。当てる距離や角度、遊び方に至るまで自分達で考え楽しむ姿が見られました。



子どもの声に耳を傾けると、大人が思いもしないような考えが飛び出し、毎度驚かされます。子どもの声を取り入れた活動は子どもの主体性が育まれると考えています。自分自身で遊びを考え作っていく経験は、遊びにかかわらず“自立”にもつながっていきます。子どもたち一人ひとりの考えを大切に今後も自由な発想が行き交う場をつくっていきたいと思います。



## ぽぷら組



男の子たちは女の子たちに教わりながら作っていました。

「どうやってやるの？」

「交互に、こうやって・・・ここ持ってあげる」

「〇〇ちゃん、すごいなあ。次は・・・？」

そして自分が作れるようになったら、今度はお友だちに教えたり、手伝ったり。出来た喜びを友だちと分かち合い協力しながら、教える楽しさや喜びを味わっています。



できたよろこびから  
おしえるよろこび

黙々と、何を作っているのでしょうか？「じゃんけんしよう！」「最初はグー、じゃんけん・・・」手のひらから何か出て来ました。作っていたのは、色んな色の紙テープで作った通称【ピヨヨヨ〜ン】です。

長さや色の組み合わせにもこだわり、細かく交互に折っていき完成した作品を嬉しそうに見せてくれます。なぜ青と黄色を使って作ったか聞いてみると、「飛び出した時、前に出たように見えるから」と遠近感を表現しようとする姿がありました。



*Beautiful*

不思議で楽しい氷作り

牛乳パックで作った氷を出して遊んでいた A くんが「ガラスみたいに割れて変な形になった」と見せてくれました。完全に凍っていないかったため、中が空洞になり割れて面白い形になっていました。それを不思議そうに見ていた A くん。「色んな形ができるんだね」「作ってみたい！」ということで、水風船で氷を作ってみることにしました。



「僕、ここ押さえるから〇〇ちゃん押して」「私も手伝うよ」と子どもたち同士で協力し合っていました。途中、手が滑り風船が勢いよく飛んでいってしまったり、びしょ濡れになったりと苦戦しながらも何度も作っていくうちにどんどん作るのが早くなりました。

水風船を冷凍庫に入れるとどうなる？

「固まるんでしょ」「え、固まらないんじゃない？」「割れちゃうよ」とワクワクしながら想像する子ども達。1時間も経たないうちに「固まったかなあ？」と楽しみで仕方がないようです。

凍らせると、どうなるのでしょうか・・・？

実験結果は・・・？

凍った水風船を見て「固まったね！」と嬉しそうなおもたち。手に乗せると「重い！」と思っていたよりはるかに重かったのか、手から滑り、水が入ったタライに落ちました。すると弾けるように割れて中からコロんとまるい氷が出てきました。子ども達から歓声が起こり「丸い！」「ツルツルしてるね」「どんどん小さくなっていくよ」と感触や氷の変化を楽しんでいました。いくつか割れなかった水風船を太陽にかざして透き通った氷を覗き込むBちゃん。「私の氷はつぶつぶしてる」「〇〇ちゃんの氷はツンツンしてるね」と氷にも模様があることを発見し溶けていく時の模様の変化を楽しんでいました。



今年はプール遊びがない異例の年でしたが、プール遊びでは出来ないような発見がありました。好きな遊びをじっくりと集中して遊べる時間にもなり、友だちとの関わりも多くもち、成長が感じられた貴重な時間だったと思います。

♪今月のうた

・赤とんぼ

・きみとぼくのラララ



# 9月のほけんだより

もみじやま保育園  
保健室

今年の夏は、プールが無く、自粛ムードの中過ぎていきました。各ご家庭で、様々な工夫をされたて過ごされたのではないのでしょうか。子どもたちにとって、特別な夏になった事でしょう。これからは、たくさん外で活動していきます。靴の見直しをしましょう。

## 9月1日は防災の日

非常用品は備えていますか？  
すぐに取り出せるよう、決まった場所に用意しておきましょう。中身は定期的にチェックをし、期限切れの物が入っていることのないようにしましょう。マスクを入れておきましょう。

## 生活リズムを見直そう

暑い夏を元気に過ごした子供たち。そろそろ夏の疲れが出るころです。元気に活動に参加できるように、生活のリズムを崩さないようにしましょう

### まずは早起き

遅寝を早寝にするのは難しいもの。まずは、遅く寝ても早く起きる習慣をつけましょう。



### 光を浴びる

起きたら太陽の光を浴びましょう。それによって生体時計がリセットされ、体も脳も目覚めます。



### 朝食をとる

脳が元気になり、体温を上げ活力が出ます。腸を刺激して排便を促します。



## 靴は足に合ってますか？

「くつ新しくしたばかりなのに・・・」  
久しぶりに登園して靴が合わず驚かれた方、「すぐ大きくなるから大きいサイズにしておこう」という方がいらっしゃるといいます。足に合わない靴は・・・

- 不自然な足の動きになる
- 転びやすい
- 爪が割れる、変形、炎症を起こす

など様々なトラブルを起こします。乳幼児期は足の骨格形成の大事な時期です。足にあった正しいサイズの靴を選びましょう。

### 調整ベルトがついている

足を固定し、足と靴を一体化させる。本人の手にあった太さ。

### つま先にゆとりがある

5~9mmのゆとり自由に指先が動く。



### 柔らかくクッション性のある靴底

しっかりかかとを守り、包み込む固さ足の動きにフィットする柔らかさと、地面からの衝撃を和らげるクッション性が必要。

9月の発育測定

9月7日(月)



# 食育だより



2020年9月

## ひじきに含まれている「食物繊維」って？

食物繊維は、体の中で消化することのできない食べ物の成分です。胃や腸で消化されないまま大腸に到達する為、大腸を刺激して排便をスムーズにする効果が期待できます。

食物繊維は日本人が不足しがちな栄養素です。毎日の食事に意識して取り入れましょう！



## 9月15日は「ひじきの日」

ひじきは食物繊維をはじめカルシウムやミネラルが豊富な食べ物です。ひじきを食べて健康で長生きして欲しいという願いを込めて旧敬老の日に「ひじきの日」が制定されました。

～「食物繊維」が多く含まれる食べ物～



さつまいも



ごぼう



きのこ類



大豆製品



### 【材料（4人分）】

- 精白米 2合
- めんつゆ 大さじ1
- 干しひじき 4g
- にんじん 30g
- 油揚げ 10g
- 水 100cc
- 鶏ひき肉 100g
- 和風だし(顆粒) 小さじ1/2
- A 砂糖 小さじ4
- 料理酒 小さじ1/2
- みりん 小さじ1と1/2
- 濃口醤油 小さじ4

### ひじきを使った人気メニュー♪ ひじきご飯

#### 【作り方】

- 規定量より少なめの水とめんつゆでご飯を炊く。
- ①ひじきをたっぷりの水に約15分浸して戻す。
- ②にんじん、油揚げを小さく食べやすい大きさに切る。
- ③鍋に水100ccを入れ火にかけ、沸騰したら鶏ひき肉を入れてほぐし①と②を加え弱火で5分煮る。
- ④Aを加えよく混ぜ、5分煮る。
- ⑤最後に醤油を入れ、5分煮る。この時煮汁が少なめになるよう火加減を調整する。
- ⑥ご飯と⑤を煮汁と共に混ぜ合わせる。煮汁は少しずつ加える。均等に混ぜたら完成。



なすです！  
なすびともよばれるの



「一富士、二鷹、三茄子」とも言われる縁起物よ！  
「秋茄子は嫁に食わずな」と言う位、秋は身が引き締まり食感もよくて、味も凝縮されているの！  
低カロリーでダイエット食としても優れているのよ。

### 美味しいナス選びの基本 注目の3つ

- 1 へたの切り口がみずみずしいこと！  
へたに棘があるのが収穫して日が経っていない印。
- 2 皮にハリとツヤがあること！  
流通の過程で水分が飛んでいない証拠よ。
- 3 表面に傷がないか見てね。  
傷があると、傷みやすくなるから。



# Atelier



## 1枚のチラシから生まれる遊び

あすなる組のSくんがチラシを棒状に巻いて組み合わせた大作を見せてくれました。

「先生、これ何だと思う？これね、屋根なんだよ」  
面白い発想力を褒められて、嬉しそうに新しいチラシをもう1枚取りに行きました。両方の手を上手に使い、細い棒を作ります。隣にいたAちゃんが「Sくんはね、あすなる組で1番棒作りが上手なんだよ」と言いました。Sくんはますます自信に満ち溢れた顔でチラシを巻きます。それを見ていたぼぶら組のKくんもチラシを持ってきて巻き始めました。Kくんも手先が器用な子どもです。でも上手く巻けません。チラシで棒を作ることは、子どもにとっては結構難しいのです。巻きながら抑える。一瞬の気の緩みでパツと太くなってしまいます。Kくんは丁寧に巻きあげたのにテープを貼るところで手が緩み、太い棒になってしまいました。



細い棒ができたSくんは、今度はそれを短く切って指にはめ「見て！これ猫爪だよ！忍者が使うんだ。」と言ってポーズをきめました。それを見たKくんは、慌ててもう1枚のチラシを持ってくと、焦ってチラシを巻き始めました。「うーんなんか上手いかないな」小さな声で呟きます。隣にいたAさんが「あのね、はじめはね、やさし〜くつねるようにするの」と言いました。「やさし〜くつねる、やさし〜くつねる……そうだ！」突然ハサミを持ってチラシを小さく切り始めました。これまでの経験から小さい方が巻きやすいとひらめいたのでしょう。Kくんは完成した細い棒を指にはめ、嬉しそうにSくんと忍者ごっこを始めました。



もみのき組のAくんは上から落ちてくる水を集めています。担当がいろいろなサイズの器を用意していたので、小さい器や大きい器に繰り返しお水をいれていました。この写真の大きなケースは、お水が入ると重さでバランスが取りにくくなります。持つ場所を変えたりしながら、なんとかお水をこぼさないように工夫して遊んでいました。



## 教わる学びより自分で見つける学び

チラシを巻く遊びや水を集める遊びはテレビゲームや玩具と比べるとシンプルで地味な遊びに見えますが、このような遊びを夢中に行っている時、子ども脳はより活発に動き成長するといえます。自分で遊びを見つけ試行錯誤する経験が学びの基となります。乳幼児期ならではの遊びに、夢中になる時間をこれからも大切にしていきたいと思っています。



